

京都府戦略的地震防災対策推進部会の開催結果概要について

1 開催日時

平成29年4月25日（火） 午前10時～12時

2 場所

京都府職員福利厚生センター3階 第1会議室

3 出席委員

牧部会長、明致委員、窪田委員

4 議事等の概要

事務局から説明を聴取し、委員間で議論を行った。概要は次のとおり。

【報告事項】

(1) 熊本地震を踏まえた車中泊避難対応検討会取りまとめについて

<委員からの主な意見>

- 今後、訓練を行って検証してみることが重要と考えられる。
- 一部の大規模な駐車場へ車中泊避難者が集中すること、駐車場を活用する商業施設の営業再開との兼ね合い、自宅周辺での車中泊避難への対応も必要となる可能性がある。
- 物資供給や情報提供等、避難所の支援センターとしての機能も検討しておく必要がある。

(2) 津波災害警戒区域の指定及び津波被害想定の設定について

※ 委員了解

(3) 京都府津波避難計画策定指針（案）について

<委員からの意見>

- 津波避難計画策定指針は必要なものであり、内容についても問題は無いと考えられる。避難計画の策定は、地域の実情に応じて行うことが重要である。
- 津波避難計画策定指針に定められた内容は、検討できたものから、早く住民に発信していくことが重要だろう。
- 避難誘導に従事する職員や消防団員に正確な情報を伝えること、避難路のわかりやすい表示についても、重要と考えられる。
- 避難困難地域の抽出の際の、避難開始までの時間の設定については、地域性があるものではないことから、他府県の事例も確認して府として決めること。
- 津波注意報は、海の中にいる人に、ただちに海から上がって海岸から離れることを呼びかけるものであり、住宅地における避難を呼びかけるものではないことに周知が必要である。

【議事】

(1) 第二次京都府戦略的地震防災対策指針及び推進プランの改定について

※ 事務局案のとおり修正を承認

(2) 第二次京都府戦略的地震防災対策推進プランの進捗について

<委員からの主な意見>

- 「完了・定着化」となった事業について、目標値を改訂して「実施」としても問題ない（事業番号：12、80、141、234、237）。
- 評価を強化するためには、進捗の点検することに加えて、効果の検証についても検討してはどうか。
- 「検討中」となっている、災害対策本部の役割分担・マニュアル策定（事業番号：152、165）については、時系列で対応を整理し、タイムラインの策定を検討してもらいたい。